

OnAir 3000 ニュース

株式会社TBSプロネックス 様

OnAir 3000



Aスタジオ、BスタジオをOnAir 3000で更新



株式会社TBSプロネックス 様

スタジオ移転

2013年12月、プロネックス様はスタジオ機能を含むオフィスを移転されました。新設されたスタジオは全部で4部屋。Aスタジオ、Bスタジオと呼ばれる生放送にも対応した音声収録スタジオが2部屋。ProToolsシステムをベースにし、アナウンスブースも完備したMA編集スタジオが2部屋です。テクノロジーの進化が速い現在、時代に合わせ、多様なプロダクションに対応できるスタジオ環境を実現されました。

この移転に伴い、スタジオ音響内装を新装し、スタジオ機材の多くを一新されました。Aスタジオ及びBスタジオの音声卓も更新の対象となり、ご検討の結果、OnAirシリーズのフラッグシップであるOnAir 3000を納入させて頂きました。

音声卓選定にあたって

移転前、プロネックス様は音声収録スタジオにてOnAir 2000をご使用いただいていた。長い間、OnAir 2000の簡便なインターフェイスに慣れ親しんでいるという経緯も有り、スタジオシステムの中核となる音声卓選定は大きな課題であったと伺っています。熟練したエンジニアの皆様による技術サービスをご提供されつつも、スタジオ環境のみのレンタル業務も行われているプロネックス様にとって、操作が容易で、シンプルなインターフェイスを特徴とする音声卓は必須でした。また、時間単位でサービスを提供されているビジネス的な側面もあり、音声卓としての信頼性及び動作の安定性が選定の重要な要因ともなりました。OnAir 2000をご使用されてきたご経験も含め、仕様や操作性を継承しているOnAir 3000は、それらの要求を満たす音声卓として認めて頂き、Aスタジオ、Bスタジオのメイン音声卓として導入を決定していただきました。フェーダー数は移転前のOnAir 2000と同様の18フェーダー仕様で、多音声素材のミックスも可能となっています。

OnAir 3000

OnAir 3000は、あえてレイヤー機能を持っておらず、初めてデジタル音声卓をご使用される

お客様にも、アナログ音声卓感覚で操作できるユーザーフレンドリーな音声卓です。シンプルなデザインは操作習得期間の短縮を可能とし、事前に決めた設定を簡単に保存・呼び出しができるスナップショット機能は、戻し忘れ等のヒューマンエラーを減らします。モニター系統やコミュニケーション機能も充実しており、ブース内とサブ側の間でのストレスが無く、制作作業に集中できると高い評価をいただいております。

スタジオ完成

短い移転期間でありながら素晴らしいスタジオを完成させたプロネックス様。機材だけでなく音響内装も新装されたことで、雰囲気の良い高級感溢れるプロフェッショナルなスタジオ空間を実現しています。OnAir 3000はこれからも、プロネックス様のスタジオ運営を堅実にサポートして行きます。

